

## 祭 文

本日大八洲神社の遷宮鎮座の佳き日を迎え祭典を挙行するにあたり、組合並びに組合員氏子一同に代り御祭神の御前に敬まって申し上げます。今より五十数年前旧満州開拓村の鎮守として大八洲神社を建立し、氏神様に皇大神宮並びに月山神社の御神霊を奉祀して御加護を賜りました大八洲開拓団も、その甲斐も空しく団員家族は神社に後髪を引かれる思いで村を引き揚げました。

それから避難流浪の悲惨な生活を経て帰国した生き残りの者達が当地に再入植しましたが、水害による苦難重なる開拓の成就を願う組合員家族の心の拠り所として大八洲神社を再建し、天照皇大神宮の大蔭を奉祀して昭和二十六年十二月一日鎮座除幕式を挙行するとともに入植五周年記念祭を開催しました。

その後昭和四十七年素住台開拓地区の移転のため神社遷宮の止むなきにいたり、守谷町から菅生町に移ってこの場に建築した素住台公民館内に一時の積りで奉遷しましたが、不本意ながら仮遷座のまま二十数年の歳月が過ぎました。この長年にわたる神社建立の初心に悖る遺憾な状態をこの上放置するに忍び難いとの組合員の熱意により、入植五十周年を迎えるに当り社殿を造営し本殿を奉遷するとともに、新たに出羽

三山神社の御神霊を合祀奉り、組合員氏子の敬神と御祈願の念をもって本日御遷宮鎮座祭を厳修する運びとなりましたことを祭典の御神前において謹んで御報告申し上げます。

昭和十四年中国東北の地に入植以来開拓農業の道一筋に歩んで来ました組合員及び組合員家族を五十有余年の永きにわたり御加護賜りました。御祭神のお蔭を持ちまして、困窮苦難の道も乗り越え大八洲開拓がこの様に故国で再建できました。その誠に有難い御神佑に対し畏まって心より感謝の意を表し奉ります。

そして御神体の幾久しき御安泰と益々の御神徳の高揚を御祈念申し上げますとともに、組合氏子をはじめ地域一同の安全と繁栄を御祈願申し上げます。恐れながら御祭神に捧げる祭主の詞といたします。

平成八年十月二十四日

大八洲開拓農業協同組合長

大八洲神社奉賛会会長

祭主 石 田 時 雄